

講義名	中小企業論			授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
			ナンバリング・コード	MAN180	

主題と概要

中小企業は、企業数で全体の99.7%、従業員数も全労働人口の約70%を占めている。日本経済において重要な存在です。この授業では、中小企業の定義や歴史、大企業との比較等の基礎知識、多様性ある中小企業の姿、中小企業の経営課題とその対応、中小企業支援、という4つの視点から中小企業について学んでいきます。積極的に事例を取り上げ、具体的な中小企業像をイメージできるよう進めていきます。オンライン等で中小企業の経営者や支援者にも登壇してもらおう予定です。

到達目標

- ディプロマ・ポリシーに基づき、以下を到達目標とします。
1. 中小企業とは何か、日本経済における中小企業の役割などの基礎知識を理解し説明できる
 2. 多様な中小企業の姿を知り、具体的な事例を説明できる
 3. 新事業創出する中小企業について経営理論を使って説明できる
 4. 中小企業の特有の経営課題とその対応に向けての取組みを理解し提案ができる
 5. 自分なりの中小企業観を持ち、可能性あふれる中小企業像を説明できる

提出課題

1. 授業の学び、理解度確認
授業の終わり、授業の最初、課題のいずれかの形で、「授業の学び」「理解度確認」を提出してもらいます。(原則毎回～2回に一度程度)。
2. 中間ミニレポート
中期にミニレポートを提出してもらいます。
3. 期末まとめテスト(レポート形式を予定)
期末まとめテスト(レポート形式)を行います。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

個別でのフィードバックは行いません。授業の中でいくつか紹介していきます。

評価の基準

1. 授業姿勢、「授業の学び」「理解度確認」 55%
出席は11回以上、「授業の学び」「理解度確認」の提出回数が実施回数の2/3以上であることを単位取得の最低必要条件とします。
出席は、授業中複数回行うWEBツール等で判断します。
2. 中間ミニレポート 15%
3. 期末まとめテスト 30%

期末まとめテストの提出を単位取得の最低必要条件とします。
評価項目の内容や評価割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・中小企業は、私たちの生活に密着した商品やサービスの提供を行っています。また、中小企業の中には、世界市場の獲得につながる先端技術を活用していたり、様々な地域の資源を活用して事業を行っている企業が多く存在しています。そのような中小企業に関する情報は、新聞やTV、ネット等を通じて日々発信されていますので積極的に触れてください。これらの自ら得た情報が授業で学んだこととつながり、中小企業を身近に感じ、より深く理解できるようになります。
- ・授業参加を重視した科目です。集中して授業を受けてください。他の受講生の迷惑となる行為、WEBツール等以外のスマホはしないでください。
- ・授業参加を重視した科目です。集中して授業を受けてください。他の受講生の迷惑となる行為、WEBツール等以外のスマホはしないでください。
- ・授業参加が不十分でも、授業の中でグループディスカッションを行うことがあります。
- ・授業の学びやテスト、レポート実施に際して、他者・ネット資料、翻訳AI等からの単純コピーは厳禁です。コピーが判明した場合は、当該点数が0点となります。自分の力で課題に取り組んでください。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

配布するレジュメで授業を進めていきます。レジュメは事前にキャンパスクロスに掲示します。

- <参考文献>
- 『中小企業・ベンチャー企業論』グローバルと地域のはざまでー。植田浩史他
- 『中小企業白書・小規模企業白書』中小企業庁編(複数年のものを使います)

授業計画

1. ガイダンスとイントロダクション(中小企業とは何か?)
<予習>シラバスと講義資料を確認し、中小企業のイメージを自分なりに考える(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める(120分)
2. 中小企業に関する基礎知識(中小企業の変遷など)
<予習>講義資料を確認する。この1週間の生活の中で印象に残った中小企業を説明できるようにする(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める(120分)
3. 中小企業に関する基礎知識(大企業と中小企業、地域における中小企業)
<予習>講義資料を確認し、大企業と中小企業の違いについて自分なりに整理する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める(120分)
4. モノづくり系中小企業(これまでの動きと変化)
<予習>講義資料を確認する。ものづくり系中小企業を題材にしたドラマや動画に触れる(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める(120分)
5. モノづくり系中小企業(新たな取り組み)
<予習>講義資料を確認する。前回学んだことを踏まえて、改めてものづくり系中小企業を題材にしたドラマや動画に触れる(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める(120分)
6. 商業系中小企業と店舗づくり
<予習>講義資料を確認する。商店街を歩き、小売店の種類、品揃え、にぎわい等を知る(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める。改めて商店街を歩く(120分)
7. 社会課題をビジネスで解決する中小企業
<予習>講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習するとともに、社会課題をビジネスで解決する中小企業の動画で授業内容の理解を深める(120分)
8. 中間まとめ
<予習>これまでの講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習したのち、中間ミニレポートの作成を行う(120分)
9. 創業・起業
<予習>講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める。兵庫県内の創業事例から1事例をまとめる(120分)
10. 起業家とベンチャー企業
<予習>講義資料を確認する。ベンチャー企業の定義を理解し、事例を用意する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める。ベンチャーとその他の創業との違いを整理し、事例で説明できるようにする(120分)
11. 中小企業の経営課題とその対応(事業承継など)
<予習>講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める(120分)
12. 中小企業の経営課題とその対応(生産性向上など)
<予習>講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める(120分)
13. 中小企業の経営者
<予習>講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める。授業での経営者事例から経営者に必要な要素は何かを自分なりに整理する(120分)
14. 中小企業支援政策と支援現場の実際
<予習>講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める。支援機関のHPを確認し、主な施策をまとめる(120分)
15. 全体のまとめ、期末まとめテスト
<予習>それぞれの講義資料を確認する(120分)
<復習>講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める。中小企業とは何か、中小企業ならではの価値は何かを整理する(120分)

順番や内容が一部変更となる場合があります。その際は授業および講義連絡でお知らせします

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・中小企業とはなにか、また、中小企業をとりまく動向や課題などを理解するための基礎知識を身につけ、これらをもとに、中小企業や中小企業経営に関する問題探索と課題について自ら提案ができる。
- ・中小企業について多角的に学ぶことを通じて、新しい視点と豊かな発想から中小企業が新しい価値を生み出しうることに気づき、新たに中小企業の価値を自ら定義することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中WEBツール等を活用して、問いを出したり、意見を集約等を行うことを想定しています。グループディスカッションも複数回行う予定です。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。
その中で、起業に関心を持つ人々を増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。
経済産業大臣認定・中小企業診断士。

備考
